

2005.12.11

今強く握る 命の恩人の手

イラン・イラク戦争で毒ガス弾を浴び、日本で治療を受けて一命を取り留めた元イラン兵、アリ・ジャラリさん(42)が29日夜、治療にあたる中谷寿男さん(67)「関西医科大学教授」と17年ぶりに大阪で再会し、旧交を深めた。アリ・ジャラリさんは「家族とともに毎日、日本でお世話になった皆様へ祈りをささげている」と万感の思いで握手を交わした。【花岡洋二】



17年ぶりに再会し、握手する毒ガス被害者のアリ・ジャラリさん(手前右)と医師の中谷さん(同左)

毒ガス弾で重傷・元イラン兵アリ・ジャラリさん

中谷医師と17年ぶり再会

アリ・ジャラリさんは88年3月、イラク軍の攻撃に遭った。全身熱傷で、自力呼吸できない状態で日本へ運ばれ、帝京大救命救急センター(東京都)で中谷さんの治療を受けた。ロンドンで38年が経ち、再会する望みが出てきた。アリ・ジャラリさんも笑顔で「日本に搬送されてから意識を取り戻したが、どこにいるか理解できず、処罰として敵国で大量に採血されたのかと思った」攻撃に遭った。全身熱傷で、自力呼吸できない状態で日本へ運ばれ、帝京大救命救急センター(東京都)で中谷さんの治療を受けた。ロンドンで38年が経ち、再会する望みが出てきた。

イラク軍の攻撃受け 日本の病院で治療

3カ月の治療の後、帰国。今も呼吸器系の重い後遺障害がある。毒ガス被害者と交流している市民団体「モーストの会」(広島市、津谷静子理事長)が、医療交流活動の一環で招いた。

西区のイラン料理店で会食し、食事中はアリ・ジャラリさんも笑顔で「日本に搬送されてから意識を取り戻したが、どこにいるか理解できず、処罰として敵国で大量に採血されたのかと思った」攻撃に遭った。全身熱傷で、自力呼吸できない状態で日本へ運ばれ、帝京大救命救急センター(東京都)で中谷さんの治療を受けた。ロンドンで38年が経ち、再会する望みが出てきた。

西区のイラン料理店で会食し、食事中はアリ・ジャラリさんも笑顔で「日本に搬送されてから意識を取り戻したが、どこにいるか理解できず、処罰として敵国で大量に採血されたのかと思った」攻撃に遭った。全身熱傷で、自力呼吸できない状態で日本へ運ばれ、帝京大救命救急センター(東京都)で中谷さんの治療を受けた。ロンドンで38年が経ち、再会する望みが出てきた。